



結核 診断・治療の遅れがないように

以下の対応についてご理解・ご協力をお願いします。

1 肺炎や肺がんを疑うとき、COVID-19を否定されたときなど

吸引や気管支鏡など
実施するときは
N95マスクを着用
してください。



症状が長引く場合は
胸部エックス線検査を
実施してください。

3日連続の喀痰検査
(塗抹・培養・感受性検査)を
実施してください。

2 結核と診断したとき(患者死亡後の場合も含む)

保健所へ
ただちに発生届を
提出してください。

本人・家族に
診断結果や
治療の必要性を
伝えてください。

本人・家族に
保健所から
連絡がはいることを
伝えてください。



3 結核の治療を開始してから終了するまで

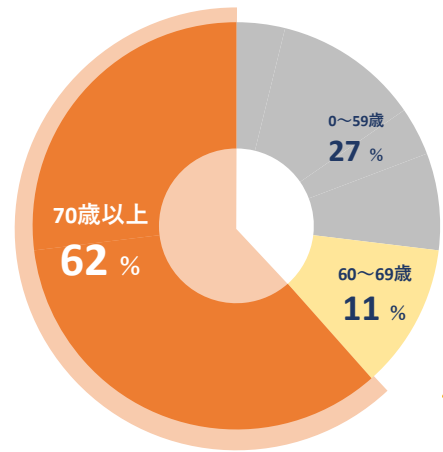
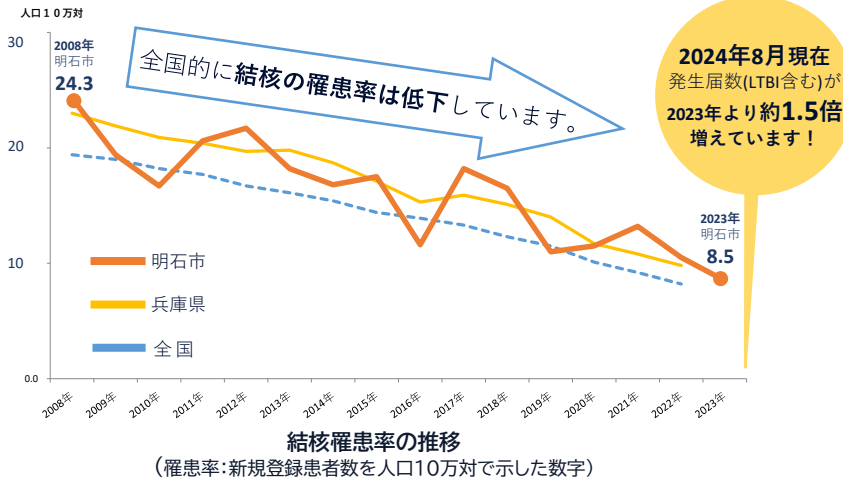
治療開始時は
保健所へ
公費負担申請書を
提出してください。



治療中にも
喀痰検査を実施し
菌陰性化の確認を
してください。

治療終了時は
喀痰検査と
胸部エックス線検査を
実施してください。

明石市の結核発生状況



明石市内では新規結核患者の多くが高齢者です。高齢者の場合、咳や痰などの症状が出にくい場合が多いです。

2023年 活動性結核患者の年齢割合(明石市)

結核の発見・治療が遅れてしまった事例

事例1 60歳代男性

症状出現 0 日目 気道狭窄感と咽頭部の違和感を自覚。
106 日目 A病院を定期受診して症状について相談。
227 日目 胸部エックス線検査の結果、異常なし。
その後も症状持続するため喀痰検査および胸部CT検査の結果、肺結核と診断。

同居家族は直後に接触者健診を実施。

結核菌感染と判明し、潜在性結核感染症の治療開始となった。

事例2 60歳代女性

症状出現 0 日目 B病院に入院中に微熱が出現。腰痛のため解熱鎮痛剤を内服していた。
116 日目 入院中、定例の胸部エックス線検査を実施し、異常所見あり。
135 日目 食欲低下、咳、倦怠感、軽度の呼吸苦あり。
喀痰検査および胸部CT検査の結果、肺結核と診断。

約4か月間感染力が高い時期に、同室者と接触あり。

20名以上(職員含む)が接触者健診の対象となる。

このうち、複数名が結核菌感染と判明した。

症状が持続する場合は、結核を疑い

胸部エックス線検査や喀痰検査の実施をお願いします。

